くりっく株365のリスク

「くりっく株365」（取引所株価指数証拠金取引）には、主に以下のリスクが存在します。投資を行う際にはこれらのリスク及び「くりっく株365」取扱会社より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分理解した上で、ご自身の判断でお取引を行うようにしてください。なお、以下に掲げるリスクは、「くりっく株365」での取引に生じる全てのリスクを示すものではありません。

価格変動リスク

対象指標である株価指数の価格、金または原油に係る上場投資信託（以下「ETF」）の価格の変動により損失が生じることがあります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金の額に比して大きいため、相場の状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。また、「くりっく株365」の価格は現物の株価指数やETFの価格そのものではないため、需給関係、相場の状況等によっては乖離が拡大し、その結果、現物の株価指数やETFの価格から想定していた価格で取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

為替リスク

海外株価指数証拠金取引については、投資家は為替リスクを負担しませんが、マーケットメイカーが、自己の負担する為替リスクを勘案して買呼び値及び売呼び値を提示するため、為替相場の状況によってはスプレッドが拡大し、想定していた価格で取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

予想配当に関するリスク

配当相当額は、指数構成銘柄の権利付最終日における予想配当に基づき、その後の株価指数の値に与える理論上の影響値として、東京金融取引所（以下「TFX」）が算出するものです。したがって、「くりっく株365」に係る配当相当額は、実績配当に基づき算出される配当相当額や指数構成銘柄の現物株についての予想配当及び実績配当とは異なります。

金利変動リスク

金利相当額の計算には円や外貨の金利が適用されることから、当該金利水準が変動すること等により、保有する建玉の金利相当額の受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。

流動性リスク

「くりっく株365」では、マーケットメイカーが買呼び値及び売呼び値を提示し、それに対して投資家がヒットして取引が成立する方式を取っています。その為、状況（天変地異、戦争、政変、各国の法制や金融政策・規制の変更、株価指数の構成銘柄を上場する各取引所の制度変更、当該指数を原資産とする先物取引に係る取引制限、各国の商品市場等に係る政策・規制の変更、ETFを上場する各取引所の制度変更・取引制限、ETFに関連する商品先物取引に係る取引制限、情報配信の遅延・停止、相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼び値及び売呼び値の安定的、連続的な提示が不可能又は困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができない等、投資家にとって不測の損失が生じる可能性があります。なお、平常時においても流動性の低い株価指数やETFの取引を行う際には、希望する価格での取引ができない等の不利益を被る可能性があります。

信用リスク

「くりっく株365」においては、投資家の取引を受託する「くりっく株365」取扱会社に対しTFXが取引の相手方となる「清算制度」を導入しており、投資家の証拠金は、全額TFXが分別管理しているため、原則として全て保全されます。しかし、「くりっく株365」取扱会社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、取扱会社が破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

システム障害リスク

TFX及び「くりっく株365」取扱会社のシステム、または投資家、取扱会社、TFXの間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等には、相場情報等の配信、注文発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失を被る可能性があります。

税制・法律等の変更リスク

税制・法律またはその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

株式会社 東京金融取引所

東京都千代田区丸の内1丁目8番2号 鉄鋼ビルディング8階

TEL 03-4578-2400　URL https://www.clickkabu365.jp

FAX 03-3212-5780　E-mail info@tfx.co.jp

211202

くりっく株365

くりっく株365 入門ガイドブック

目次

くりっく株365とは …… P1
6つのワンダフル …… P3
多彩な商品ラインナップ …… P5
ほぼ24時間・祝日も取引できる …… P7
レバレッジを理解しておこう …… P9
売りからの取引って? …… P11
配当もしっかり …… P12
海外の株価指数も円で …… P13
年に1度のリセット日とは? …… P15
ほかにもたくさんワンダフル …… P17
商品の仕様 …… P19
覚えておきたい用語集 …… P21

たいせつな金融取引を安心のTFXで

東京金融取引所

「くりっく株365」は、株価指数提供会社から正式なライセンスを受けた取引所CFDです。

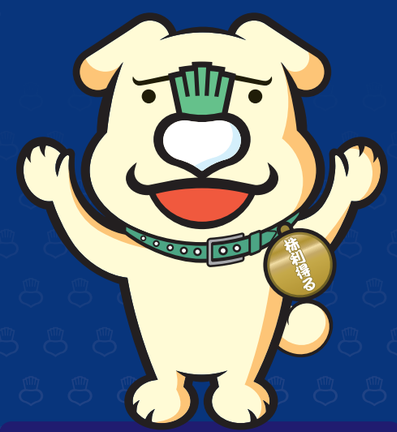
くりっく株365 ってこんな商品！

ハイトードリ【日本名:配当鳥】
カプリエルが発する「配当の香り」に引き寄せられ、常に配当を探して飛び回る。カプリエルの良きパートナー。鳴き声は「ハイトー、ハイトー」と聞こえる。

「くりっく株365」は、国内外の株価指数やETFを取引の対象にして、
価格の値上がり・値下がりを予想し収益を狙う商品。
「買い」からの取引だけでなく、「売り」からも始めることができるから、
相場の下落局面でも取引のチャンスがあるんだヨ。

しかも、取引金額全額の資金は必要なく、
少額の資金で取引できるから、
個人投資家の間で人気が高まっているノダ。

「くりっく株365」取扱会社で専用の口座を開設し、
銘柄を決めて、取引の資金となる
証拠金を用意すれば、取引が始められるノダ。



カプリエル【日本名:株利得る】
鋭い株式嗅覚を持つ。好物はもちろん株。経済情報紙を愛読し、投資家としての実力は折り紙つき。犬実（けんじつ）な投資がモットー。

取引できる商品

株価指数

日経225　NYダウ　NASDAQ-100　DAX®　FTSE100

ETF

金ETF　原油ETF

「くりっく株365」は、株価指数提供会社から正式なライセンスを受けた取引所CFDです。

取引する単位

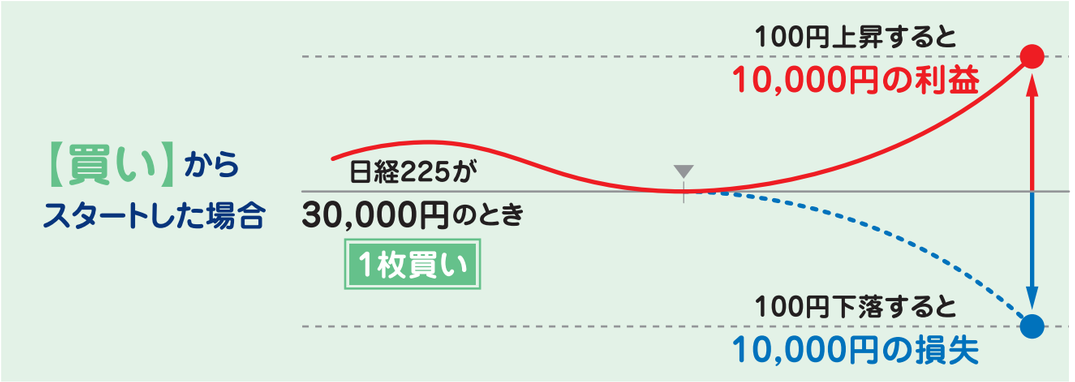
1枚あたりの取引単位は
株価指数 または **ETF** の**価格×100円**

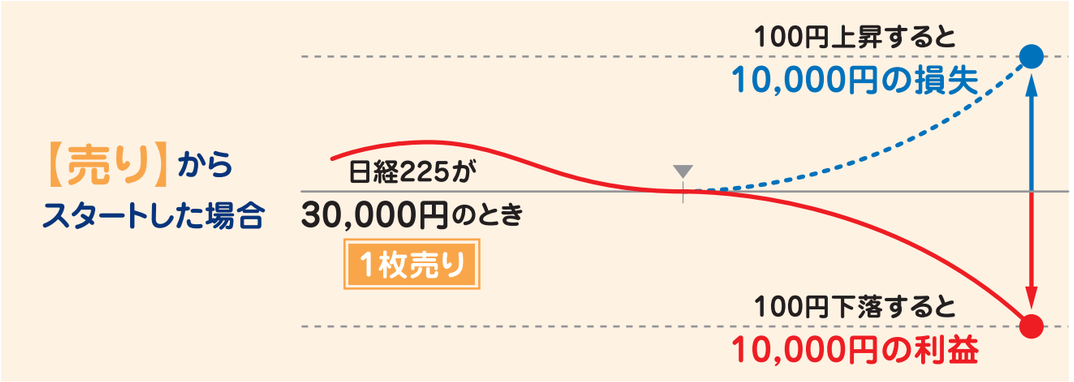
日経225を1枚取引した場合、
日経225の価格に
100円の値動きがあれば、
1万円の損益となるノダ!

例えば、日経225の価格が
30,000円なら、**300万円**（30,000円×100円）
相当の取引をするというコト。
※NYダウとNASDAQ-100の取引単位は「株価指数の価格」×10円

「くりっく株365」の取引イメージ

ここでは、日経225を取引した場合の価格の上下と、取引による損益をイメージしてみましょう。

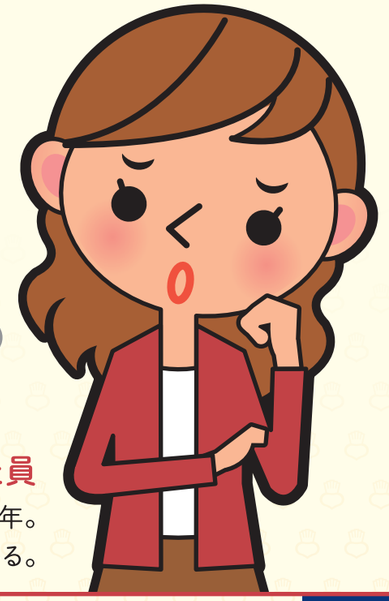




※上記の取引例では、手数料・金利相当額・配当相当額は考慮していません。

※日経平均株価（日経225）
DAX®はコンティゴ　インデックスGmbH及びドイツ取引所グループの登録商標です。

日本株はたくさんあって
どれを選べばいいかわからないから、
わかりやすい日経225を取引したい。
でも配当も捨てがたい。
せっかくなら、仕事が終わった後や
祝日も取引できるといいなぁ。



Aさん：27歳・女性・会社員
投資歴は2～3年。
主に日本株や投資信託を取引している。

最近米国株を始めてみたけど、
相場の状況を見ながら
リスクヘッジできる方法はないかな?
できれば為替リスクも気にせずに
効率よく取引したい。

Bさん：38歳・男性・自営業
投資歴は10年。最近はFXや米国株を取引。
取引する際は資金効率も重視。

くりっく株365なら、6つのワンダフルで解決します!

1 多彩な商品ラインナップ

投資の幅が広がる

日経225や海外の
株価指数に加えて、
金や原油のETFが
取引できる!

→ P5へ

2 ほぼ24時間、祝日も

いつでも

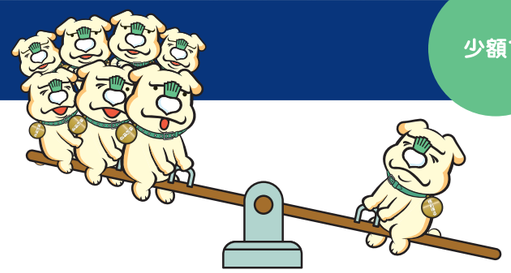
日本市場だけでなく、
海外市場の取引時間を
カバー。深夜でも
相場の連続性を保てる!

→ P7へ

3 レバレッジ取引

少額で

証拠金取引、つまり少額の資金で
取引できるから実に効率的!



→ P9へ

4 売りからもOK!

ヘッジ取引にも

売りからも
取引ができるので、
下落局面でも
利益が狙える!

→ P11へ

5 配当あり

現物株と同じ

買いポジションを
保有することで、
株価指数ベースでの
配当相当額を受け取れる!

→ P12へ

6 NYダウなど海外株価指数も

為替リスクなし

為替レートを気にすることなく、
海外株価指数の価格をそのまま円で取引ができる!

→ P13へ

ワンダフル1 多彩な商品ラインナップ 投資の幅が広がる

「くりっく株365」は株価指数だけじゃない！ ETFも取引できる便利な商品。 世界中のいろんな市場に投資できるんだヨ。

- 日経225やNYダウなどの株価指数に加えて、金や原油のETFにも投資できチャウ。
- 気軽に始められて、一つの口座でいろんな商品を取引できるから、投資の幅がさらに広がる！
- 自分の投資スタイルに合ったポートフォリオを組み合わせることで、リスク分散もできるノダ！

FTSE100

ロンドン証券取引所に上場する銘柄のうち、時価総額の上位100社で構成される株価指数。金融関連やメジャーと呼ばれる資源関連の銘柄数が多いのが特徴です。

DAX®

世界第4位の経済大国、ドイツの株価指数。化学、工業の比率が高く、輸出への依存度が高いのが特徴です。

日経225

言わずと知れた日本を代表する株価指数。日本経済新聞社が算出しています。日本経済の動向をリアルに感じることができます。

NASDAQ-100

Nasdaq

米国ナスダック市場の上場銘柄のうち、金融関連の銘柄を除いた時価総額上位100銘柄で構成される株価指数。世界のIT市場を牽引する米国のハイテク銘柄が多いのが特徴です。

NYダウ

世界で最も有名な株価指数。米国を代表する優良企業30銘柄で構成されています。

金ETF

金の地金価格との連動を目指すETF。安全資産として世界でも注目を集める金を、現物の受け渡しなく手軽に取引できるのが特徴です。

原油ETF

世界の原油の指標として知られるWTI原油先物価格との連動を目指すETF。原油そのものの受け渡しによる保管リスクなどがないため、個人でも気軽に投資できるのが特徴です。

「くりっく株365」は、株価指数提供会社から正式なライセンスを受けた取引所CFDナノダ！

ワンダフル2 ほぼ24時間、祝日も いつでも

仕事が終わってからでも間に合う「ほぼ24時間」トレード。さらに祝日も!

「くりっく株365」なら日経225が、ナントほぼ24時間、祝日※だって取引できチャウ! もちろん、海外の株価指数やETFも日本が祝日でも取引できるから、世界中の市場の動向を追うことができるんだヨ。

※1月1日(この日が日曜日の場合は1月2日)を除きます。

ほぼ24時間

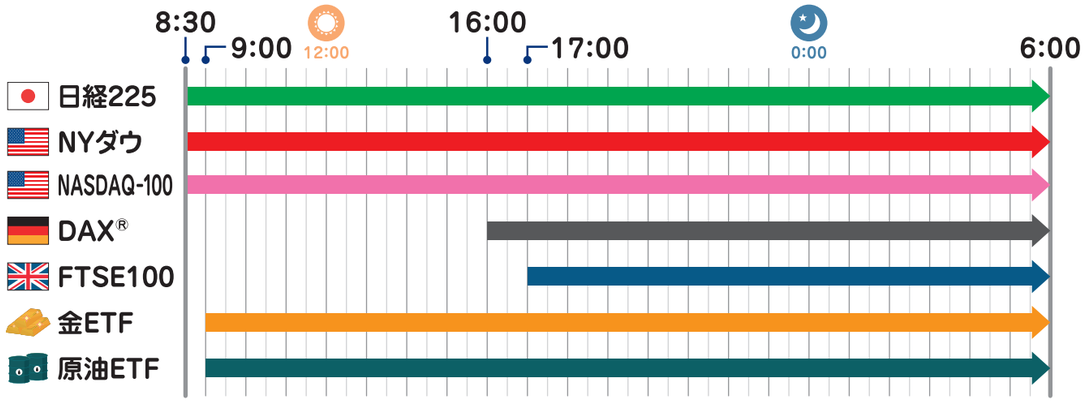
ほぼ24時間取引だから おいしい機会を逃さない!

海外(欧米)市場が開いている間は市場の変動をダイナミックに捉えることができます。東京市場のオープニングに大きな影響を及ぼすニューヨーク市場のクローズ時間までカバーしています。

帰宅後に デイトレードも可能!

ほぼ24時間取引だから会社から帰って自宅でじっくり取引することができます。

●「くりっく株365」の取引時間



※上記は米国ニューヨーク州及び欧州サマータイムの非適用期間の取引時間です。
サマータイムは19ページの「くりっく株365の商品仕様一覧」をご覧ください。

ご注意 海外市場の祝日またはその他の理由等で取引時間を臨時に変更する場合があります。
取引時間帯の切り替え時には、事前に「くりっく株365」ホームページ等でお知らせいたします。

さらに祝日も

日本の祝日も海外市場は常に動いている!

- 日本の株式市場では、祝日は取引が休場となるけど、「くりっく株365」は、日経225・NYダウなどの株価指数や金・原油のETFが祝日でも取引できるノダ!
- 毎年ゴールデンウィークや年末年始など、株式市場の休場が続くことがあるけど、その間もいまや世界のほとんどの市場はそれぞれに影響を与えながら値動きしているんだヨ。
- 「くりっく株365」なら、海外で大きなニュースがあった場合に相場が急変しても、取引機会を逃さずタイムリーに対応できるんだワン!

取引機会の多い「くりっく株365」

●ある年のゴールデンウィークの取引日の例

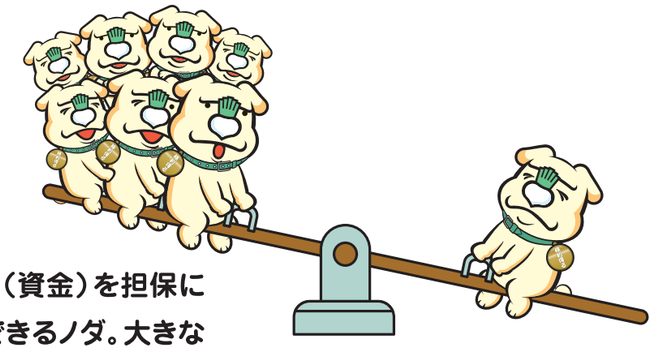
取引日	くりっく株365 日経225	日本の現物株式市場
4/29(木・祝)	○	休場日
4/30(金)	○	○
5/1(土)	休業日	休場日
5/2(日)	休業日	休場日
5/3(月・祝)	○	休場日
5/4(火・祝)	○	休場日
5/5(水・祝)	○	休場日

●ある年の年末年始の取引日の例

取引日	くりっく株365 日経225	日本の現物株式市場
12/30(月)	○	○
12/31(火)	○	休場日
1/1(水・祝)	休業日	休場日
1/2(木)	○	休場日
1/3(金)	○	休場日

ワンダフル3 レバレッジ取引 少額で

レバレッジ取引で、実感する運用効果



「くりっく株365」では、預けた証拠金（資金）を担保にレバレッジを利かせて効率よく取引できるノダ。大きな利益が期待できる反面、思惑が外れると損失を被ることもあるから、注意が必要だワン!

●日経225の価格が30,000円の場合

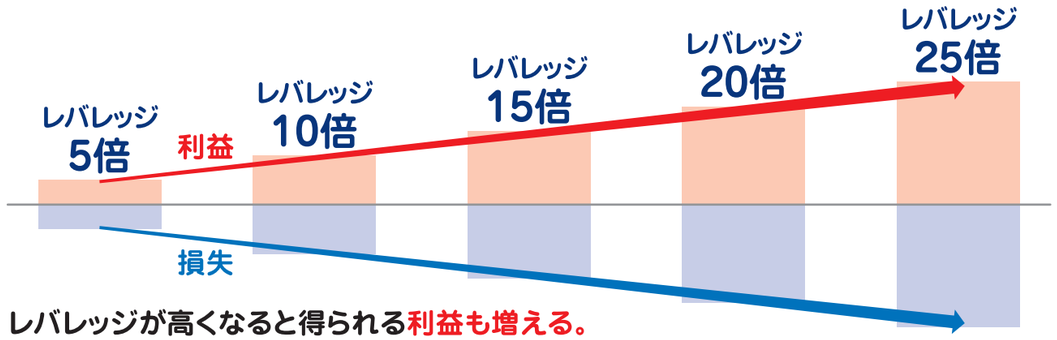
どちらも取引金額は300万円

それぞれ最低限必要な取引資金は?

くりっく株365 1枚の取引金額	日経225 30,000円 × 取引単位 100円 = 300万円	10万円程度 取引金額の1/15〜1/30程度
日経225連動型ETFで同じ金額を取引する場合	日経225 30,000円 × 口数 100口 = 300万円	300万円 ETFの取引金額相当が必要

日経225連動型ETFだと、300万円分の資金が必要になるが、「くりっく株365」では、通常10万円程度の証拠金で300万円分の取引ができるので、資金効率の良い取引ができるノダ!

レバレッジ効果による損益のイメージ



レバレッジが高くなると得られる利益も増える。
反対に予想が外れると損失額が増える。

そもそも証拠金ってなに?

証拠金とは、「くりっく株365」の取引を行うためにあらかじめ預けておく担保のことです。「くりっく株365」では取引するために必要な証拠金の最低金額（証拠金基準額）を原則週1回の頻度で見直しています。

ポイント

証拠金基準額をもとに「くりっく株365」の取扱会社が取引に必要な証拠金の金額を決めている（必要証拠金）。利益だけでなく、損失も想定して、ロスカットラインをあらかじめ頭に入れておくのが堅実な投資だワン。預ける証拠金の金額によって、レバレッジ倍率を自分で調整できるノダ。

●日経225の1枚の取引金額が300万円の場合

※必要証拠金の額は取扱会社によって異なりますので、直接取扱会社へお問い合わせください。

ロスカット制度によるセーフティネット

「ロスカット」とは、予想と反対の方向へ相場が動いたとき、事前に取扱会社と定めた条件を超えて損失額が膨らむと、自動的に反対売買を行うしくみ。預けた証拠金以上の損失を防ぐ制度のため、リスク管理が効果的に行えます。
ただし、取扱会社によってロスカットのタイミングなどルールが異なりますので、取引を始める際には、内容を確認することが重要です。

※相場状況によっては、証拠金以上の大きな損失を被る場合があります。

ワンダフル 4 売りからもOK! ヘッジ取引にも

「売り」から入るという選択肢もアリ!

「くりっく株365」は、値上がりを予想した「買い」からの取引だけでなく、値下がりを予想して「売り」からも取引できるノダ。「高く売って、安く買い戻す」取引ができるので、株価指数やETFの価格の上昇局面だけでなく、下降局面でも利益を狙うのもいいんじゃナイ?

「くりっく株365」ならではの売りからの取引活用例

1 短期トレードで収益を獲得!

株価指数やETFの価格は、さまざまな要因によって日々刻々と変動しているヨ。その変動幅に注目して、下落局面で収益を狙うのもアリ。

2 保有資産のヘッジ取引に使える!

日本の祝日に、海外市場で大きな経済イベントなどがあり、祝日明けの東京市場が大きく下落することが想定されても、現物株式を保有している投資家は、推移を見守るだけで東京市場がオープンするまで取引ができない…

「くりっく株365」なら、例えば海外市場で相場が下落している時に「売りヘッジ」を行うことで、保有株式の下落分をリスクヘッジすることができるノダ。

「売りヘッジ」とは?

保有株式やETFについて相場の下落を予想 → 保有株式等を売却する代わりに、「くりっく株365」で売建て → 予想通り相場が下落した場合、保有株式等の値下がりによる損失を「くりっく株365」の買戻しによる利益で相殺

ワンダフル 5 配当あり 現物株と同じ

通常の株と同じように配当がもらえるヨ。

「くりっく株365」では、株価指数を取引した場合、「買い」ポジションを持っていると株と同じように配当をもらえたり、「売り」ポジションを持っていると金利をもらえたりできるんダヨ。ムズカシそうだけど、しくみはカンタン! しっかり下の表で基本を押さえておこう!

	買いポジション	売りポジション
配当相当額	受け取り	支払い
金利相当額	支払い	受け取り

金利・配当相当額は、「買い」と「売り」で同額(一本値)ナノダ!

配当相当額ってこういうこと

「くりっく株365」では、買いポジションを持っている場合、株価指数の構成銘柄に配当があればその都度、株価指数ベースでの配当相当額が受け取れます。(売りポジションの場合は同額を支払います)
「くりっく株365」で配当相当額を受け取るには、「権利付最終日」と呼ばれる取引日終了時点に「買い」ポジションを保有していることが条件です。
また、「くりっく株365」の配当相当額は、各株価指数提供会社から直接取得した予想配当情報に基づき、TFXで計算の上、公表しています。

※DAX®リセット付証拠金取引、金ETFリセット付証拠金取引及び原油ETFリセット付証拠金取引については、配当相当額が発生しません。

金利相当額ってこういうこと

買い手	株価指数を構成する銘柄やETFを保有することに伴う資金調達コストに相当
売り手	株価指数を構成する銘柄やETFを売却することに伴う資金運用益に相当

金利相当額の算出方法

$$\frac{\text{清算価格} \times \text{取引単位} \times \text{金利} \times \text{日数}}{365}$$

ワンダフル 6 NYダウなど海外株価指数も 為替リスクなし

「くりっく株365」は、海外の株価指数も円で取引できて画期的!

日経225のほか、アメリカ、ドイツ、イギリスといった国々の代表的な株価指数に投資できるのが「くりっく株365」。一つの取引口座で、直接円で国際分散投資ができちゃうカッキテキな商品ナノダ!

海外株価指数を円建てで取引

今はたくさんの海外の金融商品に投資することができますが、取引にはその国の為替レートが影響します。(為替の変動で利益が減ってしまうことも!)

しかし! 「くりっく株365」の海外株価指数は、最初から円建てになっているから、為替レートを気にしなくて済むってワケ。金利・配当相当額も当然、円建てナノダ。

●通常、NYダウを取引する場合(為替リスクあり)

取引金額(円)	=	NYダウ	×	為替レート(ドル/円)
変動要因		NYダウの上下	+	為替レートの上下

● くりっく株365 のNYダウを取引する場合(為替リスクなし)

取引金額(円)	=	NYダウ	×	10円
変動要因		NYダウの上下	+	為替レートの上下

さらに! 取引の際、為替手数料がかからない!

NYダウとNASDAQ-100の取引単位は「株価指数の価格×10円」でミニサイズ

NYダウとNASDAQ-100の1枚の取引金額はそれぞれ「株価指数の価格×10円」と少額から取引できるので、海外株価指数への投資が初めての方でも気軽に始められます。

※DAX®とFTSE100は、株価指数の価格×100円です。

●例えば「くりっく株365」のNYダウを取引する場合

NYダウが35,000ポイント	35,000 × 10円 = 35万円
NYダウが36,000ポイントに上昇	36,000 × 10円 = 36万円

NYダウでは、1,000ポイント動いたら1万円(1,000ポイント×10円)の損益。

円建てだから損益がイメージしやすいノダ!

NYダウとNASDAQ-100では、1,000ポイント動いたら1万円(1,000ポイント×10円)の損益となり、DAX®とFTSE100では、1,000ポイント動いたら10万円(1,000ポイント×100円)の損益となります。

「くりっく株365」の海外株価指数の取引では、マーケットメイカーが為替リスクを負って円建てでレートを提示するから、為替レートを気にすることなく取引できるんだヨ。

「くりっく株365」のリセットのしくみ

「くりっく株365」には、1年に1度やってくる「リセット」という取引のしくみがあるヨ。

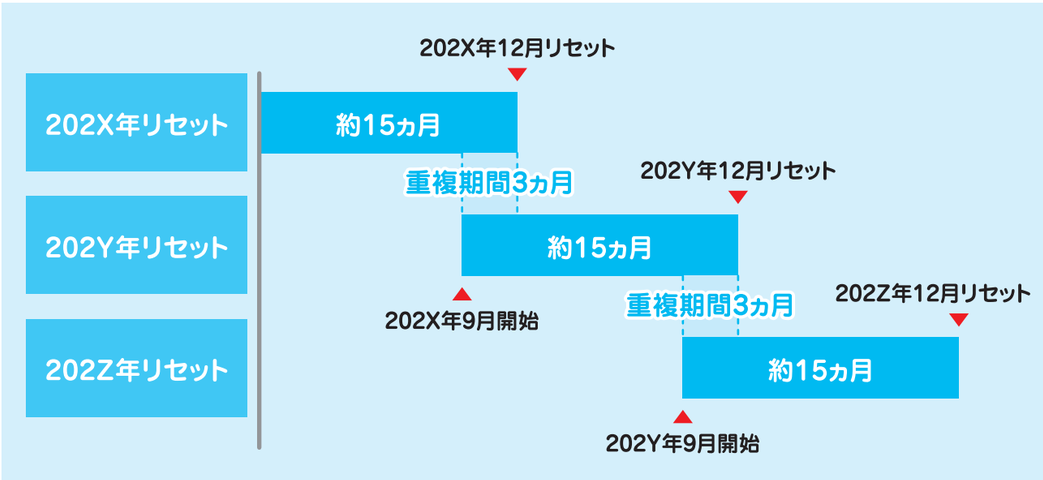
毎年9月に取引が始まり、翌年の12月にリセット日（最終決済）を迎える15カ月のサイクルだワン。

「リセット」とは

1年に1度、取引対象となる原資産（株価指数やETF）と同じ価格で決済することを「リセット」といいます。毎年12月の取引最終日の取引終了時点で未決済となったポジションを、最終決済に係る価格（くりっく株365では「リセット値」）で決済します。

「リセット」によって、取引対象の株価指数やETFとの価格の連動性が強くなって、スプレッドのタイト化などにより、市場流動性の向上が期待できるノダ。

「くりっく株365」の取引開始・リセットのイメージ



9月の取引開始日から12月のリセット日までの約3カ月間は、重複期間があるヨ。その間に乗り換えられるノダ。

※保有する未決済ポジションを、自動的に次のリセット付商品へ移行するものではありません。

「取引開始日」・「取引最終日」・「リセット日」の日程

「くりっく株365」では、新たな取引が開始される日を「取引開始日」といいます。また、リセットによりポジションが決済される日を「リセット日」とし、リセット日前の最終の取引日を「取引最終日」といいます。

●取引開始日

毎年9月第2金曜日の翌取引日（原則、月曜日）

9月

日	月	火	水	木	金	土
					第2金曜日	
	取引開始日					

●取引最終日

- リセット日の前取引日
- 取引を開始した年の翌年12月第3金曜日の前取引日

●リセット日

- 取引を開始した年の翌年12月第2金曜日
- 取引を開始した年の翌年12月第3金曜日の翌取引日

12月

日	月	火	水	木	金	土
				取引最終日	第2金曜日 リセット日	
				取引最終日	第3金曜日	
	リセット日					

「リセット値」とは

「リセット値」は、リセット日においてリセットの対象となるポジションを決済する価格のことです。

株価指数	取引対象となる原資産の株価指数が同じである先物取引（リセットが行われる年の12月限のもの）の最終決済に係る価格の小数点以下を四捨五入した値
ETF	取引対象となる原資産ETFの12月第3金曜日の「一口あたり純資産額」

ほかにも続々、ワンダフル

完全マーケットメイク方式

「くりっく株365」は完全マーケットメイク方式で価格を提供します。投資家の皆さまの注文はすべてマーケットメイカー（MM）と呼ばれる金融機関を相手方として付け合わされます。取引できるレートは複数のマーケットメイカーにより提示される価格の中から、最も高い買い価格（買呼び値）と、最も安い売り価格（売呼び値）が抽出され、リアルタイムで提供されます。

マーケットメイカーによるレート提示（イメージ）

マーケットメイカー	買呼び値	売呼び値	スプレッド
A社	30,010	30,019	9円
B社	30,008	30,020	12円
C社	30,007	30,015	8円

「くりっく株365」提示レート	買呼び値	売呼び値	スプレッド
	30,010	30,015	5円

※各商品では複数のマーケットメイカーが常時レート提示を行うことになっていますが、一時的にレートを提示するマーケットメイカーが1社だけとなったり、またはレート提示がなくなる可能性もあります。

税制について

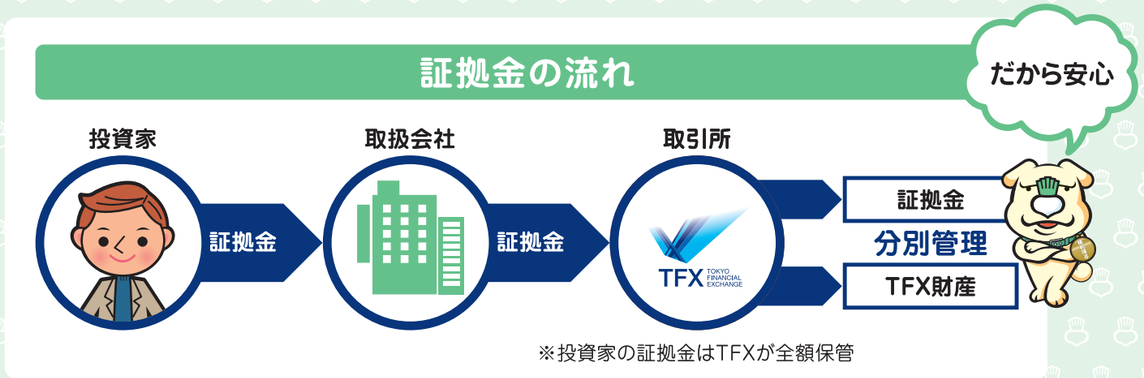
「くりっく株365」の税制は以下のとおりです。

- 税制は申告分離課税で一律20%※
- くりっく365（FX）や日経225先物、商品先物取引などと損益通算が可能
- 3年間の損失繰越控除が可能

※東日本大震災からの復興財源を確保するため、2013年1月から2037年12月末まで（25年間）、追加的に課税され、税率は20.315%となります。

証拠金の保護

「くりっく株365」の取扱会社は、投資家の皆さまのポジション状況にかかわらず、投資家の皆さまから預かった証拠金の全額を、法令により東京金融取引所（以下、TFX）に預託しなければなりません。したがって、投資家の皆さまの証拠金は、取扱会社が万一破綻したような場合でも、TFXに預託された証拠金は原則全額保護されます。
また、TFXでは、預託された証拠金を法令に基づき取引所の財産と分別、保管しています。



各株価指数のライセンス（利用許諾）を取得

「くりっく株365」は、取扱株価指数について、それぞれの株価指数提供会社から正式なライセンスを受けた取引所CFDです。
「くりっく株365」の株価指数は、日経225、NYダウ、NASDAQ-100、DAX®、FTSE100を原資産とした商品を取引することができます。
また、「くりっく株365」の配当相当額は、株価指数提供会社から直接取得した予想配当情報に基づき、TFXで計算の上、公表しています。

「くりっく株365」を理解したら、さあ、はじめてみよう!

「くりっく株365」取扱会社に連絡

「くりっく株365」取扱会社一覧とその連絡先等の情報については、TFXの「くりっく株365」専用ホームページをご覧ください。

「くりっく株365」専用ホームページ　くりっく株365　検索

くりっく株365の商品仕様一覧

	日経225 リセット付証拠金取引	NYダウ リセット付証拠金取引	NASDAQ-100 リセット付証拠金取引	DAX® リセット付証拠金取引	FTSE100 リセット付証拠金取引	金ETF リセット付証拠金取引	原油ETF リセット付証拠金取引
取引対象	日経225 （日経平均株価）	NYダウ	NASDAQ-100	DAX®	FTSE100	SPDR®ゴールド・シェア（ETF）（証券コード:1326）	WTI原油価格連動型上場投信（ETF）（証券コード:1671）
取引単位	日経平均株価 × 100円	NYダウ × 10円	NASDAQ-100×10円	DAX® × 100円	FTSE100 × 100円	ETFの価格 × 100円	ETFの価格 × 100円
呼び値	1円	1ポイント				1円	
最小変動額	100円	10円		100円			
取引時間	8:30～翌朝6:00			16:00～翌朝6:00	17:00～翌朝6:00	9:00～翌朝6:00	
サマータイム適用時	3月第2日曜日～11月第1日曜日 8:30～翌朝5:00			①3月第2日曜日～3月最終日曜日の前日及び10月最終日曜日の翌日～11月第1日曜日 ②3月最終日曜日～10月最終日曜日 ①16:00～翌朝5:00 ②15:00～翌朝5:00	①17:00～翌朝5:00 ②16:00～翌朝5:00	3月第2日曜日～11月第1日曜日 9:00～翌朝5:00	
休業日	土曜日、日曜日、1月1日（1月1日が日曜日にあたるときは1月2日）	土曜日、日曜日、米国におけるNYダウ先物市場の休場日、取引最終日とリセット日の間の日※ ※取引最終日を迎えた取引に限ります。	土曜日、日曜日、米国におけるNASDAQ-100先物市場の休場日、取引最終日とリセット日の間の日※ ※取引最終日を迎えた取引に限ります。	土曜日、日曜日、取引対象となる株価指数を構成する銘柄が取引される取引所の休場日、取引最終日とリセット日の間の日※ ※取引最終日を迎えた取引に限ります。		土曜日、日曜日、1月1日（1月1日が日曜日にあたるときは1月2日）、米国における主たる金先物市場の休場日、取引最終日とリセット日の間の日※ ※取引最終日を迎えた取引に限ります。	土曜日、日曜日、1月1日（1月1日が日曜日にあたるときは1月2日）、米国におけるWTI原油先物市場の休場日、取引最終日とリセット日の間の日※ ※取引最終日を迎えた取引に限ります。
取引期間	約15カ月						
取引開始日	毎年9月第2 金曜日の翌取引日（原則、月曜日）						
取引最終日	リセット日の前取引日	取引を開始した年の翌年12月第3金曜日の前取引日					
リセット日	取引を開始した年の翌年12月第2金曜日	取引を開始した年の翌年12月第3金曜日の翌取引日					
決済方法	①反対売買による決済 ②取引最終日まで 決済されなかったポジションはリセット日にリセット値で決済						
リセット値	取引対象となる原資産の株価指数が同じである先物取引（リセットが行われる年の12月限のもの）の最終決済に係る価格の小数点以下を四捨五入した値					取引対象となる原資産ETFの12月第3金曜日の「一口あたり純資産額」	
金利相当額	買い手:支払い／売り手:受け取り 算出方法:清算価格×取引単位（100円または10円）×金利※×日数÷365（日）			※適用される金利について ・日経225リセット付証拠金取引:2013年4月4日から当面の間、日本銀行が公表する「無担保コール翌日物金利」速報（平均）とします。 ・海外株価指数に係るリセット付証拠金取引:各々の対象株価指数の先物市場価格からTFXが算出する金利。 ・金ETFリセット付証拠金取引、原油ETFリセット付証拠金取引:一般社団法人全銀協TIBOR運営機関が公表する「全銀協ユーロ円TIBOR12か月物」とします。			
配当相当額	買い手:受け取り／売り手:支払い（配当落ちの都度）			配当相当額は、各株価指数提供会社から直接取得した予想配当情報に基づき、TFXで計算の上、公表しています。 ※DAX®リセット付証拠金取引は、取引対象であるDAX®が配当込み指数のため配当相当額は発生しません。 ※金ETFリセット付証拠金取引及び原油ETFリセット付証拠金取引は、配当相当額は発生しません。			

取引に役立つ用語集

ETF（いーてぃーえふ）

金融商品取引所に上場し、株価指数や商品指数等への連動を目指す投資信託。「Exchange Traded Funds」の頭文字をとりETFと呼ばれている。

株価指数（かぶかしすう）

市場全体、業態別等、一定の銘柄群の株価を一定の計算方法で指数化したもの。

株価指数証拠金取引口座設定約諾書（かぶかしすうしょうこきんとりひきこうざせっていやくだくしょ）

「くりっく株365」の取引口座を取扱会社（取引参加者等）に開設するにあたり、取引に係る取り決めを定めた書面。

基準価額（きじゅんかがく）

投資信託の一口あたりの値段のこと。投資信託の純資産総額を投資信託の口数で割って算出される。

権利付最終日（けんりつきさいしゅうび）

配当を得る権利の最終日のこと。権利付最終日の翌取引日（権利落ち日）は、その銘柄は配当分だけ価値が減じられ取引される。これを「配当落ち」という。

先物取引（さきものとりひき）

価格が変動する商品や指数（日経平均株価など）について、ある時点の価格を予見して行う取引のこと。日本の先物取引には、「金融先物取引」「商品先物取引」「株価指数先物取引」などがある。

差金決済（さきんけっさい）

決済時に原資産の受け渡しをせず、算出された利益または損失に応じた金額（差金）のみを授受する決済方法のこと。「くりっく株365」の決済は差金決済で行う。

申告分離課税制度（しんこくぶんりかぜいせいど）

所得税の課税方法のひとつ。給与所得等の他の所得と合計せず、分離して税額を計算する。「くりっく株365」で得た利益には申告分離課税が適用される。なお、申告分離課税制度では確定申告の手続きが別途必要となる。

スプレッド（Spread）

商品での買い値と売り値の価格差を指す。「くりっく株365」では、マーケットメイカーが提示する買呼び値（買気配、ビッドともいう）と売呼び値（売気配、オファーともいう）の価格差のこと。

清算価格（せいさんかかく）

取引所が、建玉の評価を行うために定める価格のこと。この価格をもとに、建玉の損益の計算等の清算業務が行われる。「くりっく株365」の場合、TFXは、取引時間終了後、一取引日ごとに各銘柄取引別に算出する。

追加証拠金（ついかしょうこきん）

証拠金残高が日々の相場の変動により自己の建玉を維持するのに必要な金額（株価指数証拠金所要額）を下回った場合、追加して差し入れなければならない証拠金（担保）のこと。略して「追証（おいしょう）」ともいう。

デリバティブ（Derivatives）

従来の金融取引（預金、債券売買、外為取引、株式売買など）や現物商品の相場変動リスクを回避するために生み出されたハイテク金融商品の総称。金融派生商品ともいう。具体的には先物取引、オプション（選択権）取引、スワップ取引などがある。

取引開始日（とりひきかいしび）

新たな取引が開始される取引日をいう。

取引最終日（とりひきさいしゅうび）

リセット日前の取引の種類ごとの最終の取引日をいう。

取引参加者（とりひきさんかしゃ）

取引所が開設する市場において直接取引を行う取扱会社およびマーケットメイカーのこと。取引参加者になるためには、財務状況等の一定の要件を満たす必要がある。

ポジション（Position）

売買を行い保有している状態の未決済の取引を指す。買い付けて売っていないものを「買いポジション」、売り付けて買い戻していないものを「売りポジション」と呼ぶ。建玉（たてぎょく）ともいう。

マーケットメイカー（Market Maker）

マーケットメイク方式を採用している市場で、売り買いのレートを同時に提示し、その価格で売買注文に応じる取引参加者をいう。「くりっく株365」では、有力な証券会社がマーケットメイカーとなっている。

リセット（Reset）

取引最終日の終了時までに、転売・買戻しが行われなかったために決済されない建玉を、リセット日においてリセット値により決済することをいう。

「日経平均株価」は株式会社日本経済新聞社（以下「日本経済新聞社」といいます。）によって独自に開発された手法によって算出された著作物であり、日本経済新聞社は「日経平均株価」自体及び「日経平均株価」を算出する手法に対して、著作権、知的財産権、その他一切の権利を有しています。「日経平均株価」を対象とする株価指数証拠金取引（以下「本件証拠金取引」といいます。）に関するすべての事業、取引規制および実施は、専ら株式会社東京金融取引所（以下「金融取」といいます。）およびその参加者の責任であり、それらについて日本経済新聞社は一切の義務ないし責任を負うものではありません。本件証拠金取引市場を運営するに当たり本件証拠金取引に必要となる「日経平均株価」採用銘柄の配当落ち分は、金融取の責任の下、算出及び公表しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」の採用銘柄、算出方法、その他「日経平均株価」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負うものではありません。

Dow Jones Industrial Average™（ダウ・ジョーンズ工業株価平均）は、S&P Dow Jones Indices LLC（以下「SPDJI」）が算出する指数であり、SPDJIがライセンスに係る権利を保有しています。「DJIA®」、「The Dow®」、「Dow Jones®」及び「Dow Jones Industrial Average」（ダウ・ジョーンズ工業株価平均）のサービス・マークは、Dow Jones Trademark Holdings, LLC（以下「DJTH」）からSPDJIにライセンス供与されており、株式会社東京金融取引所（以下「金融取」）による一定の目的のために、SPDJIから金融取へ使用に関するサブライセンスが付与されています。金融取に上場されるダウ・ジョーンズ工業株価平均を原資産とするNYダウリセット付証拠金取引は、SPDJI、DJTH及びそれらの関連会社により後援、承認、販売又は宣伝されるものではなく、これらのいずれもかかる商品への投資の妥当性に関していかなる保証・表明もしていません。

Nasdaq®、Nasdaq-100 Index®、Nasdaq-100®及びNDXは、Nasdaq, Inc.（その関連会社を含めて以下「Nasdaq」といいます。）の登録商標であり、株式会社東京金融取引所による使用のためにライセンスされるものです。Nasdaqは、NASDAQ-100リセット付証拠金取引（以下「本件取引」といいます。）の合法性または適合性に関して、何ら関知するものではありません。本件取引は、Nasdaqが上場、推奨、販売、または宣伝するものではありません。Nasdaqは、本件取引に関していかなる保証を行わず、いかなる責任も負いません。

DAX®はコンティゴ　インデックスGmbH及びドイツ取引所グループ（以下「コンティゴ」）の登録商標です。DAX®リセット付証拠金取引は、コンティゴにより保証、推奨、販売等いかなる形においてもサポートされているものではありません。コンティゴは、DAX®リセット付証拠金取引でのインデックス利用に伴う結果及びインデックストレードマークの利用、ある時点でのインデックスの価格等いかなる点においても、明示的及び黙示的な保証及び代理権を与えているものではありません。インデックスはコンティゴで計算し公表しています。しかし、適用可能な限りの制定法下において、コンティゴは第三者に対しインデックスの誤謬について責任を負いません。さらに、インデックスの誤謬の可能性を指摘する義務を、投資家を含む第三者に対して一切負いません。コンティゴによるインデックスの公表及びDAX®リセット付証拠金取引へのインデックスとインデックストレードマークの利用を認めたことによって、コンティゴとしてDAX®リセット付証拠金取引への投資を推奨し、またはこの投資の魅力について意見を表明するもしくは保証するものでは一切ありません。コンティゴはインデックス及びインデックストレードマークの唯一の権利所有者として、東京金融取引所に対してDAX®リセット付証拠金取引に関連してインデックスとインデックストレードマークを利用及び参照することを認めたものです。

当該FTSE100（以下「インデックス」）の全ての権利はFTSE International Limited（以下「FTSE」）に帰属します。「FTSE®」は、London Stock Exchange Groupの会社が所有する商標であり、ライセンス契約に基づき、FTSEが使用します。
当該FTSE100リセット付証拠金取引（以下「商品」）は東京金融取引所が独自に開発したものです。当該インデックスはFTSEまたはその代理人が算出します。FTSEおよびそのライセンサーは当該商品に関わりを有さず、それについてスポンサー、助言、推薦、保証、もしくは販売促進を行うものではなく、(a)当該インデックスの使用、これに対する依拠、その誤りから生じる何事についても、あるいは(b)当該商品への投資もしくは運用から生じる何事についても、何人に対しても責任を負いません。FTSEは当該商品の使用によって得る結果についても、もしくは当該インデックスが使用される何らかの目的に対する適切性についても、請求、予測、保証もしくは意見表明を一切行いません。東京金融取引所は商品の組成にあたり、FTSEよりその情報を使用する権利を取得しています。